



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

前々から戦争に関する本「おだしのゲン」などを売っていましたが、原子火暴弾は本当にこわいなと客観的に見ていました。でも今日の原爆先生の特別授業で池田義三さんの実際の体鳥会談をまよときには主観的に見る事ができました。ぼくは実際に死体を運んだり、生きてるか死んでいるかわからない人間の皮肉がはがれた場面を見たりした時の、義三さんのものすごい恐怖が伝わってきました。少なくとも自分ではそう感じました。伝わってきたという事、記念館に行った時の義三さんの悲しさも伝わってきました。戦争をたくさんたくさんなど、自分に対して大きな被害をこうもらせた戦争を記念館をとおしてもう一度ふり返ることは心が痛んだことと想います。原爆を消して戦争の悲惨さをまた学ぶことができて、ありがとうございます。」

といた
りです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の原爆先生による特別授業を受けてみての感想は、まずこのような授業はたいへんもうして貰えないのでも良い糸屋馬車をやる事が出来たということにとても感謝しています。

ほくか、一番心に残った事は原子爆弾の大きさからは考えられない威力により、広島県の人々の約70%の人が被爆者となりました。たとい事です。そして、どうして、^い人により、14万人の命を奪ったのか、どうして、人の遺体も無くなってしまうほどの熱と衝撃波が発生する物をつくってしまったのか、お知り或をより、深く追求することかてきた。

感動したことは1945年の時に従軍したことも60年ぐらいも覚えていて、お礼を前として当時の言を思い出さなくては。一生懸命消火活動が、残っている遺体を運んたりしたことを覚えていたという事としても感重かた。兵の苦しみをおかして今回教えてくれた人の父親はほとんど無傷だったということも、お心感心を持ち、仲間もほとんど人が無傷でいかおていた人も軽傷だったのかわりか、と思つた。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1

ぼくは原爆のおそろしさはもともと知って
 いたけれど、想像をはるかにこごとおそ
 ろしり、事ごとく分ってぞくぞくした。
 今の東京に落とされたら想像した
 ことかと思っただけで「14万人ほど」の人殺
 してしまう物を作った、今もあるのがおど
 ろしいと思っ。そんなに危険なものな
 らずバチ捨ててしまえばいいと思
 った。これからはとたまたま大人になると
 生きていける戦争の起るかもしれない。
 大人になっても戦争を自衛隊を
 一瞬で消えてしまふ、大人が
 らんぞん思った。とに（？）
 世界が核が落とさな、落とされな
 り、これからも原爆のおそろしさやひがしい
 を覚えていたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今まで「原爆のことはテレビや国語の授業などで少しだけ知っていて「こわいな」とは思っていたけれど今日の特別授業を受けて本当に体がゾッとして今までよりもずっと「こわい」と思うようになった。爆たんを落とす候補になった都市がこんなにあったとは知らなかったからびっくりした。原爆で亡くなった人の原因は高温のたつまきだった。原爆病だったりいろいろなのがあった。原爆は昔「昔」というイメージがあったけれど今でも原爆病で苦しんでいる人がいると聞くとあまり昔という感じはしなくなった。昔と苦しんでいる人はつい最近のことのように感じているのだと思う。原爆先生の話を聞いていただけで「すごくこわかったから本当に体験した人はこれよりもこわかったのだ」と思うととてもかっこいい。一緒に死んでしまうなんてどんなに想像しようと思っても想像できない。もうこんなことは二度とあってはいけないと思うからそのためにどのようなことができるか考えていきたいと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、この特別授業を受けて、前よりも、もと原火暴について知ることができました。前のときも、原火暴は、怖い物とは知っていたけれど、このことを、聞いて、もと怖いものと、知ったのでよかったです。前までは、原火暴のことはよく知らず、テレビでみたり、おじいちゃんから聞いたこととは、あったけれどこの言葉はすごくくわしく、説明してくださって、すごくわかりやすかったです。広島市の原火暴ドーム(広島県産業奨励館前)や、原爆資料館などに、行ってみて、もと原火暴のことをくわしくしれることが、できると思う。本当に体験した人からしたら、金々だと言っていたけれど、体験していない人からしたら、怖いと思う。実際とはまったくちがうと思うけれど、怖く、せたいにせたいは、いけなげと行ったら、すごく感じると思う。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

9/26

今日は原爆のことを教えてくださりありがとうございました。ぼくはあまり原爆のことについて知りませんでした。でも今日この話しを聞いて始めていろんな人がせくなっていくなんて本当に悲しいです。B29の飛行機がもし飛んでこなければこんなことにはならなかったと思います。ぼくが原爆の所に行ったらどうなんでしょう。あとたくさんの方がやけどをしてとても苦しいのに一生懸命自衛隊に助けを求めたけど自衛隊はどうすることもできなかったから助けることはできませんでした。ぼくは今日の話をずっと忘れません。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の約90分の授業を受けて、
広島で亡くなった人が、かわいそうと、授業を
受けている時、思いました。

原爆の景^景響^響で、人が手を余計めにして歩い
ていたと聞いた時、怖くて別の場所を見てしま
いました。

原爆先生の話しや写真を見て、ぞくぞくと、とりはた
まひでてしまいました。想像するのでも怖くて、
急に胸が痛くなりました。

原爆の温度は、太陽よりも高い温度だと知った
とき、びっくりしました。太陽の温度約6000°で、
広島に落ちた原爆弓単(リトルボーイ)約7000°
約1000°の違いで14万人もの人が、亡くなってし
ました。

まとめ

私は、原爆弓単を別の国に落とせば、いいな
と思つた。もし日本が原爆弓単を落とすと、広島のおよ
び何万人の人々が亡くなってしまふと同じ思いをして
しまふから、日本は、別の国に落とせばいいなと思つた。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

/

ほく生、今回の授業を受けて、改めて原子爆弾の
 のこあさを知りました。原子爆弾が、ほう射系泉
 を生きたことは、知っていたけれど、原爆が地上600m
 で、大爆発することを知り、中心部が、100万℃
 で、表面でも7000℃になることも、原爆では、しおげき波が
 おきて、そのしおげき波が、音速をこえ、秒速440mだとい
 うことも知り、びっくりしたし、知れて良かった。原爆が、真
 上に投下されたら、一人が炭化してから、しおげき波で
 あとから大きく消えさることを知って、原子爆弾は、人に透
 としはいいものではないかと思つた。また、原子爆弾は、どう
 いう理屈で、100万℃の熱を放出せるのか、気になったので
 いろいろ、あんな事を考える人がいるのかを、さんおんに
 思つた。人の衣類が落ちて、肉が見えることを知って、考えられ
 ない。アメリカが知っていることを知って、おそろい
 みたい。水が、一人が蒸発か、ふっとうしてしまうの生、も
 のすごい熱なのだと思つた。原爆を落とさる前には、
 生、もう日本を、負けたこと生、分かっていて、思つた
 こと、あんな戦争を止めなかつた人たちは、悪いし、大爆者
 は、まをばらばらに思つた。これ戦争をしてはいけない、原爆を使

いけれど改めて思つた。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆は普通に怖いとしか思ってい
なかつたけど、3分間の動画をみて
自分の想像以上(はるかにこえる)
怖さということを新めて実感しま
した。また、8月6日に広島・8月9日
に長崎に原爆が落ちたけれど、
京都や新潟なども候補として
いたのでびっくりしました。

原爆はとても恐しいと思つたので、
また原爆が落ちないように、自分
が今何をしなければならぬかと
考えて過したいです。また最後の5分
間の動画を見て池田義三さんはとても
頑張、て毎日を過こしていたのだろ
うなと思いました。

前の文章に去ちよと書いたけれど、
原爆が落ちないように、二度と
戦争のない平和な世の中を作っ
ていきたいと思つた。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原子爆弾は、たった一発で何万人という人の命をうばって
しまっても恐ろしいものだから、世界に一発も存在しては
いけないと思いました。特に印象に残っていることは
二つあって、一つ目は原子爆弾による死亡率が40%だった
ことです。5人に2人が原爆で亡くなってしまふことは、
とても悲惨だと思いました。二つ目は、爆心地から
わずか150mの場所でも助かった人がいることです。
その人は、コンクリート製の電話局の地下にいたと聞いた
ので、コンクリートはすごく強いと思いました。こんな状況
の中でも助かった人がいるのは奇跡的だと思いました。
今まで戦争や原爆のことを詳しく知る機会が
なかったので、お話を聞いて、その悲惨さや恐ろしさは
自分の想像をはるかに超えていました。自分の目で、
原爆ドームや原爆資料館を見てみたいと思いました。
他にも、長崎の原爆のことや、今自分が住んでいる町の
戦争をしていたころについても知りたくなりました。
全世界の平和を目指すためにも、原爆や他の兵器は減らした
ほうがいいし、こんなにつらい過去があったということ
を忘れてはいけないと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

9/26

戦争が終わり2人で原爆ドームに行った時、池田さんにとってはとても悲惨だった女の人の写真は池田さんのお父さんにとって「とてもキレイな写真だった...」と話してくれた時私は心がゾクゾクと動かされたような気持ちになりました。「とてもキレイ」この言葉はうれしい言葉だと感じていましたがお話を聞くうちに悲しい言葉の一面があるということに気づきました。それは、池田さんのお父さんはそれほど悲惨な人々をみえたという別の意味が分かったからです。たった一言の言葉でもとても深い意味があることを知りました。そして、このような深い意味を知ったのは深く心に残っていたからこそだと思います。それほど人の心を傷つけた戦争はこれから未来、決して行なってはいけないものだし原爆はほかの国にも決して送ってはいけないものだということがあらためて分かりました。原爆先生の特別授業はこれからも心に刻むように覚えて生活していきたいです。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

/

ぼくは、原爆先生の授業を受けて、あらためて原子爆たんはすごく面白いものなんだ"など実感することができました。ぼくは、今まで「原爆たんが終わったことなんだから関係ないや」と思っていました。でも、今日の原爆先生の授業を受けて考え方が原爆のことについて調べてみようかな、という考え方に変わりました。

話を聞いて、原爆のことについて、ひきつけられた所が2つあります。1つ目は、原爆にパラシュートがついていなかったという点です。ぼくははたしのかげんを読んだので、原爆にはパラシュートがついていると思っていました。2つ目は、原爆の表面温度が大陽よりもあつい、7000℃だ"ということです。7000℃は高い、100℃の所もあるということを知った時は7000℃よりヒョクりました。人にあたるところでも鉄がとけるよりも大きい温度でひくりました。最初は原爆なんてどうでもいい"と思っていたけれど、原爆の話を知った後原爆のことについてしるべたいかな、と思うようになりました。ありがとう"をいしました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私はあまり原爆の威力など知りませんでした。
ですが、特別授業を受けて原爆の怖さ、威力、強
さなどが分かりました。

特に印象に残っているのは原爆の熱さのことです。
50°のお湯でも熱いのにその何倍の7000°というすごい
熱さのものが空から降ってくるというのはとても怖い
と思いました。「7000°とはどのくらいの熱さなの
か」というのはお話を聞いて分かりました。
もう一つ印象に残っているのは「リトルボーイ」の
重さです。(原爆)

約47の原子爆弾が落とされたと聞いて
おどろきました。

原爆が落とされても生きていた人々は奇跡だな
と思いました。(死亡率40%ということにもおどろき
ました。)

今回の特別授業原爆が落とされた広島のことや、
落とされた後の広島のこと原爆のことがよく分かりました。

原爆のことに興味を持ちました。

ありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

9/26

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の話をきいて原爆はと
ても恐ろしいことや、戦争は絶対にしては
いけないことを改めて映像や、話で実感
しました。原爆の中でもリトルボーイなどが恐ろし
いです。リトルボーイは、小さな少年で、映像をみて
何んて怖い物なんだらうと思いました。他にも原爆は、
とてもあつくて、ひ害者は、あつくてとても苦しかったこと
話をきいて理解しました。人間でありながら人間とは思
えない様子を皮肉げとけた黒いけいになた貝ものすく今思
、とてもつらいです。原爆先生も言うのはとてもつら
かだと思います。太陽の熱は6000℃で原爆はその1000℃高い
7000℃放射線などをあびて高熱で10秒間で人が神か
くしのように消える、とてもつらい話でした。言語には、足を
タゲた女性が痛みを耐えていて包帯をはがされる時どん
なに痛かったか私には分かりません。でも同じように、それ以上
に原爆で苦しんだ人がいて救いの手をさしのべても、助か
らず、目をそむけることしかできなかつたのはとても大きく悔しくて
悲しかったはずですよ。だからそこなことを覚悟するために
争いを、戦争、原爆を絶対にしてはならないと思はなければ



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私はこの原爆先生の特別授業を受講して、改めて、原子爆弾が、どれほどおそろしいのかを知りました。まさか、原子爆弾の温度が、太陽の温度をこえる、7000℃だとは知りませんでした。そして、原子爆弾の大きさも、まさか、3.12mもあるとは思わなかつたし、形も想像していたのとは、全くちがう物で、おどろきました。私のイメージだと、よく、イラストなどでも描かれている、丸い形をした、小さな爆弾だと、ずっと思っていました。そして、そのリトルボーイで、14万人の人がなくなっていて、心が傷つきました。池田先生(原爆先生)の話で、人々は原爆により、ひふか、たれさが、っていたり、骨が見えてしまっている人もいた。と言っていて、ゾッとしました。ひふか、たれさが、てしまふほど、原子爆弾は、おそろしい物なんだ。。。と、もし、私達に今、原爆が落とされた時のことを、想像してしまいました。すごくこわかったです。そして、最初に池田先生が、「7000℃の少年」の意味は、私の話を聞いていたら、必ず分かると思います。とおっしゃっていました。私は、その意味が、分かった気がします。7000℃というのは、原爆が落とされた時の温度。少年というのは、リトルボーイのことだと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、話を聞いて、おどろいたことがあります。

それは、原子爆弾のひょう面は、7000°で、太陽のひょう面は、6000°という事です。太陽より、原子爆弾の方が熱いということが分かっておどろきました。

そして、話を聞いて、死者数が14万人で、5人に2人が原子爆弾で死んだと聞いて、原子爆弾は、決して、あつてはならないと思えました。ビデオを見て、いるとき、当時のことを話している時、泣いていたので、それだけ、悲しくて、苦しいことだと思えました。そして、当時の人の皮ふサ、姿を再現しているものを見て、ホソッと「キレイだ」ということ言っていて、本当はもっと、皮ふはこけていて、ササくもなくて、ひどいということが伝わってきました。

私は、話を聞いて、原子爆弾のことがこわくなりました。でも、本当に原子爆弾におそわれた人達は、もっと、きょうふで、いっぱいいた、たと思えます。けど、池田義三さんも、こわかったと思うけど、れいせいへ返りを見て、行動して、おどろいたと思えました。そして、今日のことをおぼえて、社会でも、原子爆弾のことをならうので、今日のことを生かして、みんなに、原子爆弾の授業に取り組みたいと思えます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は原爆先生の特別授業を受けて、びっくりしたことがいくつもありました。

まず、原爆はとてもこわいものだと聞いているだけで、くわしくは、知らなかったのだけれど、今日話を聞いたリ、または再現をしてくださったりして被爆にあった人々の気持ちがあわかって悲しくなりました。

先生が原爆が落ちる瞬間の音を再現してくれた時は、急に静かな状態から「バコーン!!!」という大きな爆発音がひびいてびっくりしました。けれど、実際にいた人は、もっと大きい音がひびきわたり、体中の水分が蒸発しちゃうほどの暑さで苦しんでいたと思うと原爆はおそろしいものだなと思いました。

原爆で被害にあった場所はとても大きいのに、それに比べると原爆は小さく思えて、原爆の威力は強いなと思いました。

原爆の落ちた後の広島は、回りに死体ばかりあると聞いて、今では、そういうものが一人でもいると、大きな事件になってしまっているのではありませんでした。今日話を聞いて、もっと戦争のこと、原爆についてくわしく聞きたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私が原爆先生の特別授業を受講して思ったこと
が心に残っていることは三つあります。

1つ目は原子爆弾のこわさです。今まで原子爆弾は
そこまでこわくないと思っていきましたがお話を聞いてあ
らためて原子爆弾のこわさが分かりました。また一
秒でも多くの人々が亡くなってしまおうというおそろしいに
たて思いました。

2つ目は原子爆弾の温度です。600m上の
温度が100万℃少し下が7000℃、地面が3000℃というこ
とです。太陽でも6000℃なので太陽よりものたくあつい
ということが分かりました。

3つ目は広島市の人口が35万人たいては被害者が24
万人死者が14万人。そして死亡率40%という5人に2人が
亡くなってしまっているということを知ってとても悲しくなり
ました。

原爆先生のお話を聞いていろいろなことを知ることが
できました。原子爆弾は多くの人々が亡くなってしまおうとい
わいものなのです。なので原子爆弾のことについても、よくわ
しく調べてみたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

9/26

僕はこの原爆先生の特別授業を通して
原爆は絶対に落してはいけないものだと改めて
感じました。僕はこの特別授業を受ける前に
広島^の原爆^の資料館に行ったことがありますか
その時見た写真や資料を見ただけでも原爆は怖い
なあと思いましたか今の授業ではその資料館に
あるものと実際の原爆では全然レベルがさか
さかと言っていてあそこにある写真や資料よりレ
ベルがさかさかしてこんな感じだったのた
らうと思いました。そしてもう一つ感
じたことがありますそれはなせ日本
はこんなにも悲しい原爆を落とさな
いことでしたのたろうということです。

日本は江戸時代に不平等条約を結んでから
明治時代になり新しい政府はその条約を
解はしようとしてますがなせこんなことにな
ってしまったのか早く勉強したくなりました。

最後にこれから僕達か大人になり政治をい
く番なのてあつてもこのような戦争をする政治は
いけないです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私はこの原爆先生の特別授業を受講して、原子爆弾に対する意識が変わりました。今までは、原子爆弾は怖いもの、おそろしいもの、などのイメージしかありませんでした。しかし、この授業を受講した後は、人間の命がいついっしょに消えていく様子、人間なのにまるで人間ではないような姿になってしまった人々の様子などを知り、原子爆弾は私の想像していた被害よりも、数えきれないほどたくさん被害を及ぼすものだと感じました。それと同時に、こんなに数えきれないほどの人々が苦しみ、日常をうばわれてしまうおそろしい爆弾を二度と落としてはいけない、落とさせてはいけないという意識をさらに高めることができました。特に私が衝撃を受けたのは原子爆弾の熱線です。多くの方がこの熱線によってやけどをおい、死んでしまったという事実を聞き、私はとても心かいたみました。このように原子爆弾はこれからの私たちが絶対に落としてはならないものだとこの授業を聞き、あらためて思いました。今日の授業を忘れることなく、これからの私たちが戦争のない平和な世の中をつくるのが大切だと感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆で被害にあった人を「かわいそう、かわいそう」と
思うことはいくらでもできるが、もし、自分達が実際に
原爆の被害にあったら...。そういうことを考えさせられ
た授業でした。私は長崎の原爆資料館に行ったこ
とがあり実際の被害をはっきりと目で見ているので「原
爆が」とだけおそろしいかは知っていました。けれど、授
業を受けて、さらに原爆のことがおそろしく感じられまし
た。原爆で亡くなった方の14万人という数は私が想
像できないほどの数だということは確かです。原爆で
死亡・又は被害にあった人達のことを知らない人は14万人
と言われても、その数の残酷さが「分からず」とにかく多い
という印象しか受けないと思います。でも実際に亡くなった
方や被害にあった方を目の当たりにし、その数の残酷さ
をはっきりと理解している人は、もう2度と原爆はおとさな
いてほしいと思っているはずです。戦争も同じです。戦争を実
際に体験し、苦しい思いをした人はもう2度と戦争は起こら
ないように、と思っているはずです。でも戦争を体験していない人は
おそろしさを知りません。だから、戦争を実際に体験した人が、若
い世代におそろしさを伝えていくことで「平和な世になる」と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は今日、原爆先生の特別授業を受講して、原子爆弾のイメージが変わりました。受講前は熱く、怖い物というイメージでしたが、受講して、原子爆弾は、太陽よりも熱いこととてもおどろきました。また、とても多くの人を命を、一気にうばっていく、怖い、アメリカの“武器”であることがわかりました。

私は原子爆弾は作てはいけないということもわかっていても、作てて落としたところでどのくらいのお害かであるのか、よくわかっていませんでした。しかし、原爆先生のお父さんの体験談を聞いて、みんなとても苦しんでいたり、焼けにけてしまったり、とても辛い思いをする人もいて、またお害を受けていない人も、悲しむ、とても大きなお害が出てしまうものだということがわかりました。

原爆先生の特別授業を受けて、私の想像上の原子爆弾をはるかに上回る力の強さや熱さでした。だからこそ、本当に広島や長崎にいた人は私たちが体験できないほどの辛さや苦しさだったのだらうなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは今日、池田先生の話を聞いて改めて原爆はこわいものだなあと思いました。あと絶対におとしてはいけないものだなあと思いました。

ぼくは、アメリカが「ラジオソング」というすごい機械を70年も前に作ったなんてすごいなあと思いました。

表面でも7000℃で、中心は100万℃で、太陽より全々熱いのでこわいなあと思いました。高さ600mから爆発しているのに、地面は3000℃なので、すごおどろきました。

音速より衝撃波の速さの方が速かったりで、すごおどろきました。かげだけ残って人間の姿がないなんて、こわいと思いました。

池田さんのお父さんが原爆資料館で人間の人形を見て「おれいすま」と言っていたと聞いたので、どれだけ悲惨だったのが想像するだけで悲しくなります。

なので原爆は二度とおとしてはいけない、作ってはいけない



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

9/26

ぼくは、原爆先生の特別授業を受講して、原子爆弾はとてもおそろしい物だと再度理解できました。爆発地付近づくづくれくまかくではさび姿になっていると聞いてもらい、ぼくは「さび姿はさびた、さびた、さびた」と、「ゾッ」としました。本当だと固まってしまうと思います。被爆者を助けた、助けと助けられないと言った時、ぼくは、とてもくやしそうに言っていたので、その気持ちが十分すぎるくらい伝わってきました。そして、何より女の人を助けていた所になにか、とくる物がありました。その戦争の中、一つの命でも大切に、みんなを乗り込めようとする気持ちがわかりました。これからの時代は、ぼく達が造っていく時代です。原子爆弾というとてもおそろしい爆弾を使うと、1秒間で何万人もの命が失われてしまうことがわかりました。これからこの特別授業で習ったことをこれから先に生かしていきたいと思っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、被爆も被爆をされた方にも会ったことがないから、
今、原子爆弾を落とされた人々に対して「かわいそう」とか、
「悲しい」とか言えるのって思いほろろです。被爆を体験して
いたら、「大変だ」とか「つかれた」とかと言うひまもなく、痛くて
暑くて、家族をさがして町をさまよっていたのだと思います。
それに、義三さんが原爆資料館で死んだことが知られて、町を
さまようまの人の像を見ても、「羨ましい」という言葉にも、
今のふり返りの像とは違っ、命のない像とに驚く。当時の皮ふが
焼けただれた人々、ついでにさまざまなことをしていた、ふつうの
人々が一瞬にして、人間じゃなくなつた人間になってしまったことは
どんな言葉でも簡潔に表すことは不可能だ、と思います。
とにかく、どんなことがあつても二度と原子爆弾を落とす
などということは、本当に本当にあってはならないと思います。
ぼくたちがすべきことは、「かわいそう」「悲しい」と言うことでは
なく、被爆された方々の経験を自分たちが聞き、その聞いたことを
また次の世代へと語り継ぐことだ、と思います。要するに、この世界
の人々の記憶から、広島、そして長崎に原子爆弾が落ちたことを
忘させないことだ、と思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゆうこう}別授業を受講して

表

私は原子爆弾といのは爆弾に原子をいれて
い力をたかめたものかと思っていました。
しかし、私がばくぜんと漢字だけを見て、そ
んな事を思ったのが、思っていたのが今思え
ばとてもはずかしく、被爆者の方々にも失礼だっ
と思いました。原子爆弾が本当はどんな物なのか、
どんなにおそろしい物なのか正しい事を知る
事ができてよかったです。被爆者の方々の苦痛を思う
と心が痛くなります。一瞬で炭になってしまったり髪
がコゲて失くなったり、肌や皮膚が焼けただけ、人
の姿とは言えぬ姿でもまだ生きつづける、痛かった
でしょう。今の私達にはそらぞらもつかない痛みだった
のでしょう。私は、いつか広島に行って、原爆ドーム
を見たいです。死亡率が40%もあったこの爆弾が
絶対につくってはならない物、ましてやおとしては
いけない物だと深く、とても深く身にしみました。
平和が、とても大切だというのがよくわかりました。
この事は私達の子孫たちにつたえいかなければ
いけない大事なことです。原爆先生おがどうもありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、原爆先生の授業を受けて、原
 子爆弾とは、それまでは何にこと
 もなく生きていた人々が、一瞬で人
 だた黒いなにかにかあるとても極悪な
 物だということがいわかりました。ぼくは、実
 際に原子爆弾のひかりを受けた人を見
 たことはないけど話を聞いたり、
 写真を見たりして原子爆弾のいかに
 かしこくよかったです。それと同時に
 原子爆弾は、一発で何万人もの人
 の人生をくるわせ、絶えることのな
 い悲しみを生み出し、それをたえた人も
 死んだようになるしみをあたえるもので
 あるからもうこれからは、そのようなもの
 を我々がいつのもたれかいつ
 のも止めさせなければいけません。
 ことをあらためて知ることかできて
 良かったです。ぼくたちのために、大
 切な時間を使っていたいただき、ありがた
 ざいました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

ぼくはENOLAGAYが作ったリトルボーイにとってもまどろきました。

リトルボーイを見たときに長さか10mあって糸夕15tあって大きな飛行機が落とすと思っていましたが、長さを32m重さが糸夕4tでした。

これを作った人はどうやって作ったのか知りたくなりました。

そしてぼくは原爆のことをあらためておもしろいと思い、国語でやるパネルディスカッションで戦争を強く反対したいです。

広島市の人口が35万人いたのに原爆が落とされた日から21万人になってその中にはけが人がたくさんいるという状態になってしまった。

その人たちの気持ちを持って命を大七刀にして生きていきたいと思えます。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生今日は、お話をしてくださり
ありがとうございました。

ぼくは、この話を聞く前は、戦争や原爆
には、全々興味がありませんでした。
でも今日の話を聞いて「人外と身近な物なんだ」
なーと思いました。

2>目は、ドラマやマンガなど「戦争や原爆
の事をたまに見ていたのて人間がそれを恐
れてる事や怖いことも知っていました。

もし、今戦争や原爆が落ちてきたりしたら
絶対、絶ぼうと思います。

でも今日の話を聞いて戦争や原爆の怖さや
恐しさがさらに深まりました。なぜかという
原爆を落したら原爆1個で14万人も死ん
でしまふんで恐しすぎると思いました。

なのでもし自分が大人になったら絶対に
戦争や原爆を落させたりしないようにしたいです。
ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原子爆弾でたくさんの方がな
たので二度と使っちゃいけないと
思いました。

原子爆弾は、ほくの想像以上に
おそろしいものでした。

原子爆弾投下後も、多くの方が苦し
んでいたことが分かりました。

もし自分の家族や友達、大切な人が
このおなこことになったら、とても悲しい
です。

戦争も原子爆弾もこれから先ずと
あってはならないものだと改めて
思いました。

広島市の人口の死亡率、40%の5人
に2人が原子爆弾で命を落としたとい
うことを知り、おどろき、とても悲しい気持ち
になりました。

もと原子爆弾と戦争について
くわしく調べたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

今回とてもきょうなお話を話して下さり、ありがとうございました。私は、先生の話をじと聞いていたのに、耳をふさいだり、手がたんたん血色が悪くなるのをり又めようとしていました。それほどにおそろしくて、悲しくなってしまうお話でした。もし、私が被爆者だったら先生のお父さんの立場だったらなど考えてみましたが、きっと私などには想像もできないものです。先程までそこに座っていた人や仲の良い親子が目の前で消えさる。どうして、戦争なんという残虐で、悲しみしか生まないことをしてはったのか！私は、アメリカではなく、火暴たんやかく、それをいなくてはならなくなった戦争が本当にうらめしいです。様々な人に不安や悲しみをあたえ、残す物は何一つもない。そのことを、次の世代、また次の世代へと伝えていきたい。私が、

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

今一番の私の願いです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回私は原爆先生の特別授業を受
講して、原爆の言葉はするはしおれないおそろ
しき、そして戦争のおろかさ、非惨さを知れま
した。私はこの特別授業を受ける前は原爆
なんてとなめていました。ただ、太陽の温度が
6000℃で、それに+1000℃をしたのが原爆の、外周の
温度だと聞き、背筋が凍りつきえ？と目を見開
きました。そんなおそろしいものを落とされてその真下には人
はどんな気持ちだったのか考えると悲しくなります。そして、
池田義三さんが原爆で皮膚が「ただれおちた人の再
現を見たとき、「きれいさきると一言言ったと聞いたとき
そんなにも池田義三さんが見た原爆が落とされたあとの
世界は地獄のような見るにたえない景色だったの
かと戦争原爆に対する考えが変わりました。今原
爆が落とされるとなると、右をうらみでまよまよに歩けない
で泣きやけがたろうと思いました。こんな幸せだった
時が一瞬にして消えてしまう悲しさに考えさせられま
した。だからもう二度こんなおそろしいことはおこな
いようにはしたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

9/26

私は今日の授業を受けて、原爆はい
しゅんいして人の命をうばっていくひどい物
だと改めて思いました。17歳という若
さで兵隊になり、きちやうな体験をし
た池田さんの話を聞いてとても悲しい気
もちになりました。原爆が投下され現場
に向かうとちやうの出来事では池田さ
んのすばらしさが分かりました。歩いて
くるけがをした人を必死に助けようとす
る池田さんは、きっとわかったと思います。
池田さんが、原爆資料館に行った時
に「キレイすぎる」と言った理由も私なりに
考えました。池田さんは原爆にあってけが
をした人の本当の姿を知っていたからだと
思います。そしてその人形のきれいな
おとろいたのだと私は、思いました。
なぜアメリカは、原爆を日本にお
としたのか。私かもし池田さんの立場だと
私は死体をおんかしたりなどできません。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私達の為に、原爆について90分という長時間、お話を
していただきありがとうございました。

特別授業を受ける前から、原爆のおそろしさを知
てはいたものの、原爆を一度落としたり、たくさ
んの人の命がうばわれてしまうのだということを、
改めて知ることができました。又、原爆という
ものが、7000℃という太陽の表面温度をはるか
に越していることに驚きました。

弟が苦しんでいる姉を助けるために、兵隊を呼んで
いた場面がとても感動しました。それと、兵隊が
一人でも多くの人の命を助けるために、一生懸命に力
をつくっていたことに、素晴らしさを感じ感動しまし
た。原爆によって命がうばわれてしまうことを知ったので、
これからは起こさないようにする為にも、負の遺産
として原爆ドームを残していく必要があると思いま
す。又、外国との関係を大切にしていけることも、こ
れから平和な世であるために大事なことであると
私は思います。今回学んだことをこれから生きてい
く中で活かしていこうと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

僕は特別授業を受講して、戦争・原爆の悲惨さを改めて考えさせられました。講師の人が当時陸軍に所属していたという講師のお父さんの話をしてくれました。原爆は一発で何万人もの人の命をうばう、利益のないものだということが分かりました。戦後73年の今、日本で生きている僕たちがすべきことを考えることができ、とても良い経験になれて良かったです。何の利益もなくて、害しか及ばない戦争をしないようにするためには自己主張だけでなく、他国の意見にも耳をかたむける必要があるということも考えることができました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

/

「バーンッ」と言う先生の声がいかに感じびっくりしました。本当の音は大きかたのかため、それとも意外に小さい音だったかためと思うと背中がぞくぞくとしました。一番印象に残っているのは、原爆ドーム近くにつれて体がとけて人間とは思えない姿の町の人が多くなっていくことです。その人間とは思えない姿の模型の写真を見たのですが、想像がつかまませんでした。その模型の写真は女性の手で、おぼろげの手に、右往左往して手からは水みたいな物が出て、そのような模型でした。その水みたいな物は油だそうです。放射線を浴びて体内の水が蒸気になくなり油だけがでてくるそうです。このことを聞いて私は、「なぜこんな原爆なんて作ったのだろうか？なぜこんな子に人が死んでもまた原爆を作るのだろうか？」と思いました。私はこの六年生の中でこの子への答えを調べるつもりです。そして、未来の子供たちにも「原爆、てこんなにも怖い物なんだよ。だから今の生活が喜ばるんだよ」と知らせていいてです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生、今日は僕たちに原爆について教えて下さり、ありがとうございます。おれが90分ほどの時間ではありましたが、原子爆弾の重さや大きさ、爆撃機の名前やその由来など、細かい所まで教えて下さりとてもいい勉強になりました。

原爆先生のお話を聞いて、僕が一番驚いたのは、原子爆弾の温度です。爆発したときの中心が100万度、直径200mの球体にふくらんだときの表面が七千度と、太陽の表面温度よりも熱いというのは想像もできないほどのとてつもない熱さだと思っています。こんなとてつもない威力の爆弾を落とされたら、僕らたら成す体もありません。

このようなどても悲惨なことが起こる。たのは認めがたい現実です。この悲しみは実際に体験した人が一番よく分かりますが、お話を聞いているだけでも悲しみがとてもよく伝わってきました。そして僕は、このような事が二度と起こらないようにしてほしいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は今まで原火暴の事なんて、一回も考えたことがなかったけれど今回の話を聞いて一つわかった事があります。

それは原火暴の威力です。

僕は原火暴がとても危険ということには矢口しているのですが、今回の授業で原火暴は地上から約600mもはなれていても、町や家をおろし飛ばす威力があるのを始めて知りました。

火暴発をしても、風が火暴風をたつまきのおうにおこして、人をおろしてしまったり火暴発した中は真空土也帯になっていて息がでけないと僕が想像していた何倍も原火暴がおそろしい事がわかりました。

今回の授業で原火暴のおそろしさがわかりました。この授業で学んだ事を忘れずに、自分の体を守っていかうと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受けて、僕は、原爆が何万人の人を殺すおそろしい物、ということ、忘れたいけど忘れてはいけな、ということをおぼたためて感じました。

先生の話を聞いて初めに「被爆者の手を取った時」とある感覚ととも、手の皮がずるむけた、というところに驚きました。さかむけほどで痛がっている自分がなけなくなりました。想像するだけで、鳥肌が立ちました。先生のお父さんが目をそむけたくなるのも分かります。

次に驚いたのは、広島に落とされた原爆「リトルボーイ」の威力です。今日初めて僕は原爆の威力を知りました。太陽よりも熱い7000℃ということは想像もつきませんでした。その原爆に先生のお父さんが亡なっている、本当に良かったと思います。

亡なっていなかったからこの大事な話を聞けてよかったです。

僕たちが大人になつたらこの事をさらに後世に伝えて行きたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、絶対に戦争をしたくないというつもりで原爆先生の特別授業にのぞきました。

まず原爆のことをいろいろおしえてもらった時は、

原爆がおちてきたらにげればいいじゃんかと思っただけで

せんせんそんなことでは、原爆には、おちたらい

じょうがわかりました。ぼくは、爆心から500mくらい

はなれたら安全だからいいんじゃないかと思っただけ

で、おちたらいでいいんじゃないかと思っただけでした。

爆心から歩いていっても3km以上はなれないとおぼ

ろいということがわかりました。なので絶対に

戦争は、したくないということがあらためて

思いました。その中でもいちばんこわかったのは、放射線

です。たったの3分の動画の中で放射線でおん

んの人が死んでいくのがとってもこわかったです。

なので絶対に戦争をしたくないというまもりは、

いつになってもかわらないと思っただけです。



名前は裏面に記入してください

じゆこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆のことは、昔も、こわい物だと思っ
ていましたが、今回の授業で教えて
くださった。想像を絶する、原爆の
威力は、一瞬で、人を消し去るほど
の熱が発生させるほどの技術が
当時にあったことにも、驚愕でした。
原爆ドームの爆撃機をおとされる前の写真
を見せてもらい、爆発した場所の下では、
大きな建物でさえ、一瞬のうちに、
屋根が消えてしまう強さと、広島の人
の半分以上の命をうばった原爆は、
もう二度と落としてはいけないもの
だし、原爆だけではなく、戦争も
やっではないいけないことなので、
戦争体験者がいなくなっても、平和
の世の中が続いてほしいと改めて、思
いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

まずはありがとうございます。90分という短いともいえ、長いともいえる時間の中で多くは、様々なことを学ばせてもらいました。一つ目は、原爆の恐ろしさです。第二次世界大戦が終わり、このようなことをいった人がいます。戦争は心の中でおきる、だから心の中に平和のとりでを創ろうと。しかし、今の日本、いや、世界はここができていっているのでしょうか。北朝鮮の非核化が行われています。しかし、それは本当の平和とはいえません。過去に犯した誤りを改善しようと、過去へ過去へといく結果、矛盾が生じ、対立するその操り返してはならないでしょうか。そうすると、戦争が起る核の恐怖がやってきます。辺り一面をたったの数秒で「無」にしてしまう存在、何十万人の人を殺したその力。なんかないといけないと思います。二つ目は、正義とは何かということです。先ほどもかいたように対立することによっておこるのが戦争です。自らの正義を振りかざす、二つの「正義」が衝突し、戦争が始まる。そろいった正義についても、世界は考える必要があると思います。このような貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

9/26

・原爆のお話を聞いて、すごくショックと
かどうかわからないでいた。原爆はせつた
いにおとしはいけない物かとの話を
きいて思いました。原爆のお話を聞いて
原爆をおとしかきまわりの温度7000°中の
温度10000°おとしかきの温度が3000°
で、すごくおそろしかったです。その場をみた人は
人がいっしょにならなくてさえてくると、しみみた
いのかのらでいたというしょうけんききい
た時をすごくきりしました。とうじそに
いた。あいたいさんが人が生きていたところ
をみてショックにいれとうとしたしょうかん
するとかわのちうかする。とこれさかてこの
はにかあ出る人もいたそうです。その時
はくはあまりにもしょうけんきた。たのて
きいてうれなれと思ひました。はくはこ
の原爆先生の特別授業をきいてもう
にどと原爆をおとしはいけないとすこ
くへんに思ひています。後もうすこし原爆について



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

9/26

私は今日の特別授業を受講して、改めて原爆の恐ろしさ、悲惨さ、威力を知りました。

たった 3.12m の 4つの物体が 14万人の死者を生んでしまうのはとても恐ろしいことだと思います。しかも、その物体は人間が作ったものなのです。だからといって、トルーマン大統領が「悪い」というわけでもなく、キベツ大佐が「悪い」というわけでもないのです。決して、だれか一人が悪いというわけではないと私は思います。このような悲しみを生みだしてしまったのは戦争をくりかえしてきた人類だと思います。だからこそ、後世に伝えていくことが大事だとも思いました。「戦争は絶対にやらないでほしい」と思っている人が増えれば、世間は「戦争反対」という風潮になると思うからです。なので、私は今日の原爆先生の特別授業で学んだ原爆の恐ろしさ、悲惨さ、威力を後世に伝えていきたいと思いました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆はものすごい力をもっている落としてはいけないものだと思ってきました。

原爆は直径5kmを超える大都市2つさらに平野であるところに落ちて効果がよりあったといふこともあり広島市の人口35万人の40%14万の命をうばいました。そのいけ中心は100万と落ちたときには300℃で広島を炙っていました。

また特に原爆がいけだと思ったのが義三さんが皆実所です。トラクに乗っているときにまた被爆者たちの姿です。

全身がやけどして赤くなって、けいぞきあげると反りがする。落ちた。そしてそのさーとする感覚。聞いて

ているだけでも身はたがえろ心が恐怖がいっぱいになりました。人間がさしんでそんなふうになってしまう

原爆がとてつもないいけで、どうしてこんないけを作ったのだろうかと思ってきました。

これを元原爆の展示などを見て理解を深めたいと思います。私たちのために原爆は落としてはいけないものだということを知り分けても、話してくださいありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

9/26

私は、原爆先生のお話を聞いて、原爆はこれから先、せったいやってはいけないことだとあらためて知ることかできました。また、原爆くについても知ることかできました。とても貴重な体験をすることができました。特に、すごいと思ったことは、原爆くは7000℃もあることです。7000℃もの、とても熱い物体が上空からおりてきたらと考えると、こわくてたまりません。これは実際にあったことであり、14万人にもおよぶ死者が出ているので、絶対忘れてはいけないことだと思いました。また、同じ日本人としてしっかりと次の世代にも伝えていきたいです。家に帰って父や母に話をしたら、とてもおどろいていました。ふたぶん知ることのできないことを知れて良い体験になりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

9/26

原爆にはたった1秒で人々を灰にしてしまう力がありとても恐しかったです。

原爆の中心部、円周は太陽の温度よりも何千度も高く当時広島市にいた人

達の体の様子は想像するだけで悲しくなってきました。また広島や長崎以

外にも神奈川県横浜市などの場所も候補だったことにびっくりしました。特

に京都に関しては色々な面でもびっくり

しました。一時は五ばんの目のため原子爆弾を落としたり力を発きできる

が文化を破壊してはいけないから原子爆弾を落とさなかつたというところにびっくりしました。

僕は原子爆弾がとても恐ろしいというだけでは分かっていただけで今回のお

話を聞いて地震とかでさおいてるレベルで

はないほどおそろしいものだとな

と改めて思いました。これからは全世界が平和

になるにはどうすればいいか考えていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

9/26

太陽の温度が6000℃で、原爆は7000℃で地面に届いた時には3000℃で、太陽の熱さの半分が頭の上からふってきたと考えると、どのくらいの熱さが想像でき、その時に生き残った人の気持ちを考えると手足が震え、恐怖で声が出ませんでした。

熱線に関しての動画を見た時には、一瞬で体中の水分が蒸発し、人が消えるという言葉聞いてはいたものの、この意味なのか、頭が真白になり、動画を見て理解し、恐怖を背中で感じました。その後に見た動画でも黒いかげのしみと聞いて心臓が一瞬止まるような言葉では表せない感情を覚えました。

池田さんが急に大声を出した時には腰が抜けそうになりましたが、当時の人たちはこれ以上大きな音を聞いて、体中が熱くなったと思うと、目の前がくらくなりました。

今、原爆を体験した人がほとんどいません。なので私たちのような若い世代がどんどん伝えていかなければいけないと思



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

9 / 26

私の祖母は戦争体験者で、空襲などの話はよく聞かされました。でも、広島や長崎に住んでいたわけではないので、原爆の話はあまり聞きませんでした。でも、今回の授業を受けたら、原爆が自分の中でもっとおそろしいものとなりました。私は戦争に関わる本を言売るのが好きで、原爆が落とされて約万人が死ぬのが、原爆が落とされた場所など少しのことは知っていました。だけど、亡くした人のじょうきょう、今でも人々が苦しんでいること、人を救出する大変さなどが聞いていて伝わりました。私かもし、軍に入っていたら、救出を優先すると思います。だけど、その救出がとっても大変なことがわかりました。しかも、何万人もいるから「軍の人もストレスがたまったりするかもしれない」と思いました。

私たちは、すてきな未来をつくるために、「戦争を起さない」「原子爆弾人を落とさない(落とさない)」という言葉があります。原子爆弾人の他にも、人々を苦しめるものはたくさんあります。また、そのような物とい、しょうけんめい戦争している人もいます。それは、戦争が終わっていないと思われれます。戦争が二度とない未来を私たちは、うく、ていきたいと思ひます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回は実際に原爆を体験された、「ヨシゾウさん」の息子さんの池田さんからとても貴重な授業を受講させていただいたこと、感謝しています。本当に、ありがとうございました！私のお祖母は広島県呉市に住んでいます。実際に原爆ドームや資料館に行ったことのある身ですが、ヨシゾウさんが、「きれいすぎる...。」そう言、たと聞いた時、私は「私が今まで見たり聞いたりしてきた原爆についての事など、やさしく作られたものにしては過ぎないのか。」そう感じさせられる一言でした。原爆先生の授業を受講した中で私が一番原子爆弾のおそろしさを感じたのは、太陽の表面温度6000℃よりも1000℃も高い7000℃もの熱線だったということです。爆心地ですら3000℃だなんて...そう感じました。池田さんによる原爆についての授業はとても色々なことを考えさせられるものでした。今後二度とこのようなことが起きない世界をつくらなければいけないと思



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

私は今回池田人に話しを聞いて分かったことが
あります私はたまに原爆の本と読むのですが、
話を直接聞くと、原爆の現場にいるようでした。
話を聞いていると、悲しくて泣けようでした。

すごく心が痛みました。

今まで平和だったのに原爆のせいで人々の
日常はうばわれ、あとかたもなく消え去ってしまった
のです。

原爆にまきこまれた人々たちも「助けて…助けて」と
言い助けを求めていたけれどだれも助けられなかった
のです。

自分がその場にいたら助けあげたいと思います
が、きっと兵隊さんも同じことをしようとしたの
ですが、ただれた皮肉で、助けてあげられなかった
のだと思います。

代表じ入江くんが言っていたのと同じく、自分が
怖いと思っていたよりもっと怖かったです。

これからも原爆の知識を深めて、次に原爆が
おこらないようにしていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今日、原爆先生の特別授業を受け
て、戦争のこわさを改めて知ることがで
きました。

90分間の長い時間で、聞いていて
聞きたくない残酷で辛い話がたくさん
ありました。ですが、聞いておかなくてはい
けない、と思いました。なのでメモをした
こと以外の、前半45分と後半の少し
の時間で話をしていたたいたことも
たまには思い出して、戦争のことい
ついて考えたいです。

広島に落とされた原爆のくわしい
説明も、スライドなどを見ている
ととてもよく分かりました。太陽
と同じくらいの熱で、たくさん
の人が死んでしまったことや、原爆
の説明がくわしく分かったので、原
爆のこわさと、戦争のこわさも教えてもら
えてとても大切なことだということに気付きました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

この90分間で、何度も胸が痛くなりました。
一番、くるしかつたのは、一瞬で人が死んでしまうだけ
でなく、全身にやけどをおった。スガ、川を求めて、
ヨロヨロと歩いていた。という所です。
甲には子供を抱いている母親がいた。子供と
母親と聞くと、私にとって、身近な人をおもいます。
言葉では表せないほど胸がくるしくなりました。
二番目は、皮膚が取れて肉が見えていても、
必死に被爆した人達が歩いている姿を聞いた
時でした。私はこんな死に方は恐ろしくていやです。
戦争は戦っている人だけでなく、普通に、買い物や、
学校に行っている人々も恐ろしい死に方をし
しまう。
戦争は絶対にしてはいけない事だ」と私は
知りました。
日本人として、大切な話を聞けました。
ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、原爆をぜひ対におとしはいいな
 と思いました。お話を聞いて、わかった
 ことがたくさんあって、原爆のことを知って、
 ふかまると、思います。いんじょう的なたた
 のは、地上から600mの地点に表面温
 度が太陽よりも熱い7000℃のふたが
 人々を一しゆんにして戻してしまふことだ
 んが原爆か、とてもおそろしかつたです。きせき
 的に生き残った人は、ふたがたた、全身
 やけどにまつまれることか、どいあつたの
 痛みになるか、はかり知れませぬ。
 私は原爆先生の特別授業を受けて、人
 してもてむき合物なければならぬその
 たということを知りました。今はそう、おとさ
 れてはいない、平和といつていい時代です。
 かに原爆を落としてみたら、広島や長
 崎は落とされて亡くなった人の数よりも
 と、たくさんのお害がはると思います。そのことか
 ら、私は原爆を落とすはいいな、と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

私は、この授業を受け、大きなショックを受けました。いつもと同じ、何も変わらない日常が、たった一発の原子爆弾によってこわされてしまふ。好きな人の顔を見る間もなく、一瞬間で、原爆によって亡くなってしまった14万人の人々が何を、だれを、思い、もたえ、苦しみ、死んでいたか、思うだけで胸が痛くなりました。中には、その間もなく一瞬間でこの世を去った人もいると聞き、そんなことが現実におこりえるのか、耳をうたがいました。思わず、耳をささぎたくなつた内容もたくさんありました。でも、現実から目を背けてはいけません。もう二度とこの悲しい戦争をおこさないためにも、この授業をうけて私は思いました。たしかに戦争をおこしたり、原爆を落とすのは人間です。だけど、戦争を止められるように努力するのも、また人間です。私も戦争を止められるような二度とおこさないようにする、そんな人間になりたいです。今回は、このような「戦争」、「原爆」、「平和」について考えられる、貴重な機会をくださり、ありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、原火暴先生の特別授業を通して、原子爆発の恐しさに、改めて気づかされました。

ぼくは、今までは原子火暴発は、それほど大変ではないと思っていたのですがこのお話を聞いて、ぼくの考えがかわりました。ぼくの考えが「大変」ということにかわりました。

原火暴先生のお話を聞いたうえで、自分なりに原火暴のことを調べ、知り、原火暴のことをもっとわかるようにしていきたいです。

ぼくは、原火暴がどんなのかは、知らないけど、原火暴があって、どんなことがあったかはわかるので、そのことを、知らない友達などに教えていきたいです。

このお話を聞かせてくれてありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

9/26

今日、私が心に残ったことは、原爆の落ちたまわりのがれきばかりの灰色の光景です。その光景を見た時、「原子爆弾は日常を一瞬でこわすものなのかな...」と思いました。さらに、話を聞いて、原爆によって負傷した人は、水を求めて川に行ったり兵隊に助けを求めたり必死だと思っています。なぜ日本に原爆を落としたのか今日、調べてみた結果、アメリカは、戦争に勝ちたくて勝ちたくて、日本にこう参らせようと考えていて、そこで、原子という大きな力を見つけ、「これなら日本をこう参らせれる!」と思って、

原爆を投下したことが分かりました。

今回、話を聞いて、原子爆弾は想像以上のいかに人々の希望を失なわせる物体だと分かりました。

今回、お忙しい中、私たちに原爆のおそましさを教えてくれて、本当にありがとうございました。



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

9/20

ぼくは、この原爆先生のお話を聞いて、原爆とはとてもおそろしいことを改めて思いました。「リトルボーイ」という原爆を落とされ、一瞬間で一面が火の海となり人が死んでいくなんてとてもかわいそうだと思います。被爆を受けて死んでいるのか生きているのか分からないほど、全身真赤になった人が「助けて〜」「助けて〜」と助けをもとめてくるなんて想像するだけでとてもこわかったです。この話を通して戦争をおこしてはいけません。原爆を落とすことはいけないことを身にしみてわかりました。原爆のお話に興味があったのでぜひ原爆ドームが原爆資料館に行ってみたいです。今日はありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

自分は原子爆弾はもともとおぼろしいもの
だとも知っていたけどこんなにおぼろしいと
は思っていなかった。

どのように原子爆弾を落とされたのか。それ
とサイルを落とす候補7人3位まであった。
ロバート・ヤン人の母の名前がエノラ・ゲイツだ
等々様々な事を教えてくださり、
ありがとうございます。

サイルが落ちる様子の映像を
見たときこんな風に落ちていくんだ。と思
うべく悲しい気持ちになりました。

なので自分はもう原子爆弾を落と
せないために、自分には、何が出来る
かと考えていきたいです。

色々な事を教えてくださり本当に
ありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆先生の話を聞いて、今までも原爆は怖いものだと思っていたけれど話を聞いて、原爆は怖いだけでなく人の命をうばうような悲んなものだと思います。広島原爆では、被爆者数は24万人で死者数は14万人もいて死亡率は40%もあったのでおどろきました。話を聞いているときに、私は、どうして関係のない人まで死ななければいけないのだらうと思いました。方にも、広島に投下された原爆「リトルボーイ」は、約4tで大きさは3.12mもある物が落ちたのにおどろきました。候補になった都市には、広島小倉長崎などがありました。原子爆弾投下都市の条件には、①直径5kmを超える、②平野であること、③空襲がなかったというのが条件だとわかりました。方にも衝撃波の速さは毎秒440m、音速は340mだとわかりました。今回、原爆について色々知ることが出来たので、このことをいかに皆にもう二度とこのようなことはおこさないように、伝えていこうと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

最初に原爆をしたときは、あまり怖いとは思わなかったけど、原爆先生の話しを聞いて、原爆とは、一回おとすだけで、罪のない人が何万人も殺せてしまうものかということが分かりました。早くは、この話を聞いて、罪のない人を傷つけるのは、一番だめなことだと思いました。そして、原爆の元々、苦痛をうけても、必死に生きようとする人がいると思い、これからは簡単に「死にたい」とかなどの言葉を言わないようにしたいです。そして、これからも、原爆の恐ろしさや怖さを、少しずつ知っていったらなと思います。そして、本当の意味の「平和」をもっと考えたいですし、これからの日本にも、伝えていきたいと思



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

9/26

ぼくは、原爆がすごくこわいものなだと思って
いました。だけど原爆先生の話を聞いて
もっとこわいものなだと思いました。

ぼくがこう思った理由は、原爆が投下されると
600m上空に直径200mで表面でも
7000℃で中心は100万℃にもなる丸は
物ができて一しゅんで何もなくなっかけてし
た残らないときいた時です。あともう一つ
あります。

原爆が投下したあとのけむりがずっと
ずっと上の方①成層圏まで行ってそこから
もう上がれないくらいまで行くことは
すごく強い暴風だったんだと写真が
らでもわかりました。

こんな事が今後いっさい起こらない
ようにぼくたちでも考えられることが
あとと思います。

原爆の被害にあった人は、本当に苦しく
大変だったと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、原爆先生の特別授業を受講して原子爆弾はもともとの
おおい物としていきましたが、自分が思っていたより何十倍もおい
ものだとなりました。とてもあつく太陽よりもあついということが
分かりました。そして、死亡率が40%ということも分かりました。

5人に2人が死んでしまったと考えると、もう二度と原子爆弾は出さ
ないと思います。そして、放射線、熱線、放射能のおそろしさ
も分かりました。死者、被爆者数をあわすと、38万人という
すごい数の人が、つらいおぼえをしていたと思うと、しかり
この原爆について自分たちが次にへと伝えていかなければ
いけないととても感じました。そして、原子爆弾をもう
降らせないためにどうするかしかり考えたいです。

そして、原子爆弾についてより知るために調べたり
もしたいです。

そして、ぼくは、原爆先生の話を聞いて、とてもおもしろく、つらく
おおい九日間だったと思います。

また、原爆資料館にも行ってみたいと思います。

この話を家族とも話し合いたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

今回の特別授業を受けて、私は原爆を
思っていた以上に、怖いことが分かりました。
私は、実際原爆ドームに行ったことがあるの
ですが、あまりの恐ろしさにあ然としていました。
広島で多くの方が亡くなってしまいました
が、もう元には戻れないことを教しえてくれた
以上、私に向かってくることがあるなら、
私たちはいつでもキ伝うのでよろしく
お願い致します。今日聞いた話をこれ
から受けづいで、後の世代につなげてい
きたいと思ひます。これからも、この原爆の
ことを絶対に忘れずに生きていきたいと
思ひます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

9/26

今回、原爆先生の特別授業をうけて、
原爆は、とてもおそろしくて、悲しい
物なんだ。たと強く思いました。

またなぜ1度だけであらうか、2度
もアメリカは原子爆弾を打つとい
うあやまちをおこしてしまったのか
か、とても不思議で、本当にこれを打
つやつようがあったのか、会話で
こうしようをするという手段はなかつ
たのかと思いました。

なので、もう二度と作ることも使うこ
ともい(けない)かと改訂(改訂)と思
いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆は非常に危けんで非常にこわくあがたい物だとみてもわかりました。表面温度がなんと7000°太陽より熱いなんこばりと感じました。それに原爆はいろいろな物を、こわしていろいろなものがこわることもあり、すぐこわい物と思えました。そんな物が空から落ちてきたらたくさんのがりがりでたいへんなことになると感じました。さらに原爆にはいろいろな危けんな物がたくさん入っておりその毒でなくなる人もかなりいたらしいです。原爆は人の命をたくさんうばう危けんな物とわかりました。もう二度とこんなことが世界でなりたいことを思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受講して感じ
たこと。...

まずぼくは原爆とはとてもおそろしいものだ
と矢口でいきました。ですがそれをはるかに上回る
熱さとおそろしさでビックリしました。熱さは外側
が7000℃、内側が100万℃という太陽の熱さよ
りもはるかに上回る熱さでした。その100万℃
の熱さの原爆は広島県に落ち、14万人もの
命をうばいました。

その他にも衝撃波や放射線などのものが
あり、舌を凍くしその2つもおそろしいことが分
かりました。ですがやはりぼくが一番おどろいたの
は熱線でした。鉄がとける温度が1500℃なのに
原爆は7000～100万℃なので鉄がとけるどころか家
もなにもかもかやけつくさず壊れてしまいました。
原爆は広島と長崎に落ちました。その広島、長崎に
いた人たちは本当に悲しいなと思いました。
だからぼくたちは絶対に他の国にそんな
なことをしてはいけないと思ったので、原爆の

ことについてもう少し知りたいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

9/26

名前は裏面に記入してください

前
時15分

私は今回の講習を通して原爆の怖さを感じる事ができました。

1945年8月6日。瞬にして、多くの人の命が広島でうばわれてしまった事が、とても悲しかったです。原子爆弾には大きな力があり、たった一つの爆弾で大きな死者が出てしまったという事から、何があっても爆弾は投下してはいけない。戦争で、投下せざるを得なかったアメリカ陣はとてもひどいと思いました。しかし日本は今のように平和な世の中になったという事が、今いたるまで、どれだけの人々が、どんな努力をしたのか。そんな事も考えさせられたとても良い講習でした。これから、原爆についてくわしく知って、今回来てくださった原爆先生(本当に、原子爆弾の被害に合った方)のようなお話をしさが分かる人になりたい。

原子爆投を投下すると、死亡して
しまうだけではなく、痛みを耐えなけれ
ばいけない人が、現在もいて、痛みと戦
っている人もいて、つらい思いをしている人
が世の中にたくさんいる事も分かりました。
唯一、原弾を投下された国、日本。私は
なぜ日本だけなのか。と悔しい思いがはじめ
はあ、たけど、だんだん日本だけで良かったと
思ってきました。なぜなら、日本以外の国に
落とされていたら、もっと被爆者が出ていて
それに悲しんだり悔しんだりしてしまう人が、
~~私にもっと悲しい思いをしてしまう人が~~ ^{増えてほ}
~~少なくなっ~~ ^{からです。}
~~てしまうからです。~~ ^{これ以上、}
戦争に苦しんでしまう人が出てほしくない
と思ひました。

動画より)

（だからといって、^{勝つ事が}
子供が親とはなれてしまふという事は、^{できるかも悔しい}とでも
悲しい事だけど、戦争のために子供まで殺せいに
されてしまうのが、おどろいた。

6-3

小林優衣菜



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、今まで戦争について調べることはありましたが、原爆については今日初めて詳しく知りました。聴いただけでも怖くなるようなことを実際に見たり、体験したりした人がいることも改めて知りました。私は五年生の自由研究で広島県内の大久野島の毒ガスについて調べました。大久野島では戦争で使う毒ガスが他国に秘密で作られていました。その毒ガスによってたくさんの中国人が亡くなったそうです。同じ広島県内で加害と被害の両方の立場に立っていることから、戦争は恐ろしいものなのだと思いました。また、私の祖母と祖父は生まれた頃から岡山県に住んでいます。二人は四歳の時に岡山県で原爆を体験しています。広島県の隣なので、かなりの被害があったのかもかもしれません。今まではその話

について触れなむようにしていましたが
今日の話を機会に聞いてみようと思いましたが
また被害のこと、加害のことについて調べて
みようと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受けて、今までドラマやテレビなどで広島や原爆の事などを見たことがありましたが、今回お話を聞いて自分が思っていた以上にこわく思いました。一番こわいと思ったのは、人がいっしょんにしてきえーれまうてとです。太陽がとて熱いものなのに、太陽よりも1000℃高いものか近くにくることなんて考えられないことなのにそれが本当にあったというのがとて衝撃的でした。もう二度とこのように原爆を落してはいけな思いました。最近では原爆ではないけれどミサイルなどの問題があるのでそのようなことはやめてほしいと強く思いました。原爆でのやけとやけかは体験もしたことがないし、想像することだ。てできないけれどもしかしたらうこれから日本か他国で起きるかかもしれ

ないと思うととてもこわいと思いました。
スウカンタンに起きることではないけれどこれまで
に体験した人がいるから体験した人の思いを
これからのまだ知らない人たちに広島、長崎で
起きた原爆のことを伝えることがとても大切
なことだとも思いました。原爆先生の特別
授業を受ける前までは原爆のこわさなどを
少ししか知りませんでしたし、原爆を本当に
うけた人の話(ビデオ)聞くこともできな
かった。原爆先生の特別授業を受けて
今までまったく知らなかったことなども
知る事ができてとても良かったです。
これからも原爆のことについて調べて
いきたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆について、とてむいカカ
大きい物だとあらためて思いま
した。

原爆が落ちた後の広島で、人
が人ではないみたいとあしゅって
いた時、とてむゾクゾクして身
体のそこからふるえが止まり
ませんでした。体が真赤にな
てやけどしていたり、ひんがはが
れて指先からたれさがでてい
たり、手をななめ前に出したり、
考えて想像してみたら、ゆうれい、
ガンビムのような容しを思いうか
べて、こわくて固まてしまいました。
このような、こわい日本の人生は、
かたりつかなければならないと
思いました。

今、北朝せんが松かき発しています。
日本は世界ゆうーの被爆国として

戦争をおこし、核を使えば平和になる。
という考えを他国から無くし、核開発
核実験、核戦争をそ止していく
必要があると思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

9/26

私は、この特別授業を受講して、今の自分がとても幸せであることを実感しました。当たり前のように朝起きて学校に行き、帰ってきて、この日常がどれだけ素晴らしいことが考えさせてもらいました。

原子爆弾のおそろしさは知っていました。知っているつもりでいました。しかし、今回学んだことは、それをはるかに上回るものでした。14万人の人々の命をうばった原子爆弾。なぜ日本に落とされなければならなかったのか。そう考えると、胸が苦しくなりました。自分達が生きている間に落とされても、おかしくはなかったはずなのです。今までは自分と関係ないものかと思っていたけれど、そのようなことはありませんでした。「7000名の少年」の意味が分かりました。「世界遺産」として今も広島県広島市に広島県産業奨励館が「原爆ドーム」と名を変えて残されています。8月6日、9日に被害にあつた方々の気持ちは分かりません。分かるはずがありません。苦しみ、悔しさ、悲しみ... たくさんのお思いがあつたはずですが、でも、それを知る人は少なくなつていっています。でも、日本人として、このことは必ず知っておかなければいけないと思います。今の平和があるのは、1945

年の出来事があったからこそのもので、今の平和を「当たり前」
と、思っているはいけない。そう考えました。私がこのような思いを
もち、考えることが出来たのも、この話を語りついでくれる人が
いるからです。その象徴であるのが「原爆ドーム」なのだと
思います。広島に投下された、7000℃を起えるリトルボーイ。
(少年)

私も、日本が最初で最後の被爆国であるように、人間の
おかしなあやまちである原子爆弾のおそろしさを後世に伝えて
いけるようにしたいです。原子爆弾でなくても、世界の人々が
命をうばい合うようなこと、争うことがないように、このような
意識を誰もがもてるように、伝えていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

9/26

私は、元々、原爆はとてもおそろしいと思、ていました。でも今回の特別授業を受けて、おそろしく、とておこわくて、みんなが死んでしまうものか分、かり、自分の身には、あ、ってほしくないと改めて分、かりました。

私は、原爆の威力がど、つくらい、人を苦しめるのかも分、からな、か、た、けれど、授業を受けて、死、亡率、が40%と高く5人に2人死、んでし、ま、うと聞、いて、授業中少しふ、るえ、てい、ました。家に帰、って親と話、し合、い「平和にするにはど、つしたらよ、いのか」をし、っかり考、え、も、う二、度と原爆が日本にお、ち、てこ、ないよ、うに考、えてい、きた、い、です。

授業で言、てい、た、「熱線」「放射線」「衝撃波」の三つのこと、も知、ら、てお、そろしくてた、ま、りま、せ、ん、で、した。

もう日本にも、外国にも原爆がおちて
ほしくないです。また、戦争も
やめて世界が全て平和になってほしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

「平和」とは、健康にみんなが生きる世界のことを指すと思いました。

B29はリトルボーイを落としたその後、すぐに去ったとお話があり、リトルボーイを落とした米兵だ、ア布がる威力があると考えました。その様な威力がある原爆がまた地球にあると思うと、とても恐ろしいです。リトルボーイ、少年という名前も、これはまた少年でも、と大きい物も作れるぞ」と語っている気がして、そこにも恐怖を感じます。

今、紛争で死ぬ人、うえる人、苦しむ人はたくさんいて「紛争を止めよう」とたくさんの方が言っているのに、また続く理由は、兵器で解決しようとしているからだと思います。

今、〇〇で紛争が起きています。△△国は反政府勢力を押さえるために兵隊を...というニュースを見たことがあ、でもと他に出来ることは無かったのかなあと思いました。

話し合、て済んだら楽ですが、そんなに簡単なものではなく、武力を使った、と言われ

たら、その気持ちも分からなくはありませんか、やはり武力を使うのはいけないことだ"と思います。

世界が「平和」になるのはまた「また」先のことだ"と思います。

今すぐにはならない平和に少しでも近づくためには、被爆者が語り継ぐこと、そして恐は知らない人がその情報を知らない人へとつなぐことだ"と思います。

怖い画像も、戦争はしてはいけないと一番分かりました。私達は平和のために何を考え、どう行動すればいいかを考えるといけない"と思います。

被爆した日本から分かること、感じたことを外国に発信していきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、今日の話を聞いた時すごく生々しくてすこしょう、と思っただけにと、どうしたかももう二度とそんなことが起きないよ、うになるか考えられるようになりました。今まで戦争のことは聞いたことあ、ただ、原爆のことをこまかく聞、のは、はじめて、そんなこともあ、たんだ、と思うようなことも、たくさんありました。そのことを家に帰、たが家族に話して、どうすればいいか、皆で話し合いた、いです。また、これをき、に、ひいおばあちゃんに話しを聞いて見たいと思、いました。今回のお話は、とても、ゾクゾクしたりドキドキしました。だからこそこんなことがあ、たんだよという話を広めて、いければいいなと思、いました。また自分で、もう少し調べたり、本を読、んでみたりして、原爆についての知識を、も、とつけてい、きたいです。

またどうしたか、かくへいきがなくなる
のかも考えたいです。もうそのような原爆
を体験した人もいなくなってしまうので、
一日でも早くかくへいきがなくなしてほしい
です。また、ゆいつのひばく国である日本
は、もともと、かくにたまふなくても、
平和というのをアピールしてほしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆の強さで人々からたくさんの
 命を奪って、いかに怖くおそれさせた。
 小さい時に見たことがあったけどその時は
 家の中の熱いお風呂のことだと思ってい
 ました。この授業の中で原爆の大きさを
 破壊力を数万人の武器から話しては
 話をしているにも関わらず、14万人を殺し
 いた。原爆、「リトルボーイ」という小物が
 物で、1-2メートルの高さ、広島県の人形
 にも似た物を見た。1-2メートルの大きさの原爆
 で破壊するのを見て、原爆の衝撃波
 と熱気で平和だったこの町を1-2秒
 間地獄にしてしまうことをして心がすく
 なく思ってしまった。原爆が町を1-2メートル目標
 をもって、原爆が町を1-2メートル目標
 何もしないで、原爆が町を1-2メートル目標
 けど、原爆が町を1-2メートル目標
 この授業で、生きていけるということ、人の命の
 大きさを改めて感じられた。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

9/26

自分は5歳のとき、広島へ行き、原爆ドームと原爆資料館に行きました。私は人々の模型や街の様子を見てとても怖くなり、すぐに資料館を出てしまいました。そのときの私は、なぜこのような人形が置いてあるのか、ここはどのような場所なのか知りませんでした。そして原爆先生の授業を今日受けました。父の義三さんが17歳で陸軍になり日本のために活動をしたと聞いて私はおどろきました。今より昔の時代はそういうことが当たり前前の時代だということに改めておどろきました。原子爆弾が広島に落されて広島ががれきの山になった実際の写真を見るととても心が痛くなりました。大きなやけどを負い、兵たちに助けを呼びかける街の人々、助けようとトラックの荷台に運ぼうとする兵、そして無残にも反ふがすべり落ちさらに苦痛を味わってしまうことを聞いて二つの立場の人たちの願いが同時に絶えたしゅんかんはとても苦しく

なりました。広島の人々のおよそ70%に
害を与え40%の人々が死亡させた原爆
を私はしてもにくみ、自分の無力さ何もでき
ないこと、これまでこのことを知らずに生きて
きた自分が悲しくなりました。広島の人々は
原爆ドームをこわさず、もう二度とこのこと
が起ころうないように残したことは日本に
原爆の恐ろしさ、平和の大切さを訴えるた
めだと知りました。この行いは今の日本に
つながっていると思えました。戦争はたくさん
の人々が亡くなっています。このことからさ
けて目をつむってはいけない感じさせられ
ました。この原爆先生の特別授業の
おかげでこの事実を知ることができました。
授業をしてくれて本当にありがとうございました。

6-3 男
前田 優真



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

9/26

ぼくは原爆暴のことはよく矢口リ
 ませんでした。広島に大きな爆たん
 がおちたのは知っているけれど、よくわし
 くは矢口リませんでした。今回の講習
 を受けて原爆暴の夫見木莫の大きさ、つら
 さなど原爆暴についてたくさんのお話を
 教えていただきました。原爆暴の夫見木莫の
 大きさはたった一発で14万人ものぎせ
 い者をだしてしまいました。それはとてもか
 たしいことでもう二度とくりがえしては
 いけないと思いました。最初は話を聞
 いていてグロテスクだな、気持ちわるいな
 と思っていたけれどだんだん聞いてい
 るうちに、グロテスクだなという気持ちが
 だんだんうすれてきて、あつとおきあち
 なき、いけないなと思いました。原爆暴
 先生の話を聞いて、被爆者のつ
 らさがどつどつ伝わってきます。今はすごく
 こわい気持ちだけど、ぼくが大人になって

子をもつとこたなつらいことがあったとよと
よとよと伝えていきたいと思いました。

6-3 関根糸結天



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

9/26

ぼくは原爆先生の話を聞いて戦争はせたいにしゃいけない人たを強く思いました。原爆はとてもおそろしい物だと感じました。今までぼくは「原爆ってどのくらい強いのかな」としてか思っていました。今日話を聞いて声が出ないほどおそろしい人たなと思いました。一番ぼくがびっくりしたのが爆発した時に中心が100万℃で素面の温度は太陽を上回る7000℃でその時は声も出ませんでした。この原爆は何千人や何万人もの命をうばっていたのはするせませんがかがまんしないといはせん。この原爆を見たら人間がすぐ消えたといっていたのでとてもこわいなと思いました。それは水分が「いっしょ」で「蒸発」してしまと聞いて今もここに原爆がおちたらどうなる人たろうと思いました。「自分のひふがはがれおちたり自分の肉が見えたりやとても暑いそして感じたことな

い痛みなどをしたりしてやたなと思いました。
今日の話を聞いてこれからの日本はどうなるんた
ろうと思いました。これからの人たちにこのおそろ
しい戦争をつたえていくかが大事だなと思
いました。そして戦争中だと今の自分たちももう
色々な仕事につかさせている人だなと思うと
きょうを感じました。戦争はせつたいにおこして
はいけないものなのだと強く感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

特別授業を受講して、原爆が落とされた地域、広島、長崎や、被爆者が原爆により、とても、うらぐ、悲しい思いをしたことを、原爆先生のお話や、ビデオから実感することができました。

また、ビデオや、写真でみせていただいた被爆者の痛ましい姿の模型。実際に戦争、原爆のすごさを体験した、義三さん。そして、原爆先生からのお話などから、私は、二度と、原子爆弾を、つがてはいけけないし、他の国にも、何があっても、落としてはいけけないと思いました。

そして、実際に経験をした義三さんのビデオなどからも、被爆者は、とても悲しい思いをしたことを知り、私達は、色々な人達に、その恐しさを伝えていかなければ、いけないなと思いました。

そして、今でも月替り、世界遺産としてしられる「原爆ドーム」にも、たくさんの方の苦しい思い出がかくされていることを知りました。私は、戦争、原爆が、とても大切な

とは知っていました。でも、その想像をはるかに上回る
恐しさを実感しました。義三さんのように、若い人達から
お年寄りまで、戦争のかたがねれるようにと、頑張り、
なげにたいしても、がまんをしていたことをしました。
なので、そのことをこれから忘れず、きちんと、
次の世代に伝えていきたいと思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆は広島におちたので、別にいいと思っていまし
たが、今回原爆先生のお話を聞いて、もしも広島に落ちて
原爆のソルトボーイが東京に落ちていたと考えるとすく
怖しい、ソルトボーイが広島に落ちてたくさんの命が消えた
と思うと本当に原爆は落しては、いけないものかと思いま
した。そして、原爆は作てはいけない、世界からなくした方が
救済良いと思ひました。原爆で被爆者の方々は手の皮が
はがれたり原爆で落ちた一瞬で亡なれた方々の病さ、
苦しさはわかりませんが、先生のお話を聞いて、とても聞いていて
小怖くなりました。お話を聞くと、死亡率は40%と聞き5人に
2人原爆で亡なれたと聞くとあまりにも悲しくなりました。
原爆のおそろしさは原爆を体験した人が一番わかります
がお話を聞いた私も放射線や熱線、衝撃波の事を聞
いて、すこ怖かったです。一瞬で姿を消して、かたづけが残った映
画を見ました。原爆の怖さが一番伝わりました。
原爆先生のお話を聞いて者とても苦しんで亡なれた
方々がいると知り、原爆の事を知らない人達に
この、広島原爆の事や原爆ドームの事を知ってもら
いたいのです。そして、知らない人は、いらないようにしてほしい

です。

これから原爆の事はあつたが、これから生れる子
達に教えていきたいです。

6-3 藤浪愛里



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆がとても恐ろしいものだとして改めて知る事ができました。ぼくは原爆が「怖い」「恐ろしい」などの一言では表せないと思いました。また、8月6日からの九日間に池田義三さんを含めた兵隊の人達がどれだけ手を尽くしてがんばっていたかがよくわかりました。ドラマなどで見た当時の様子とはかけはなれたものだと思います。

本の名前である「7000℃の少年」というのは、原爆である「リトルボーイ」ミドルネームが「小さな少年」ということ、そして原爆の表面温度が7000℃であることから

7000℃の少年という名になっていることがわかりました。この特別授業を受ける前は「7000℃の少年」と聞いても何も感じませんでした。特別授業を受けた後ではこの「7000℃の少年」という言葉に様々な人々の苦しみ、悲しみ、恐怖が強く伝わってきます。

ぼくたちのような戦争を体験していない人々は原爆の本当の恐ろしさを知ることは難しいです。当事りのことは言葉や写真などでは全然伝わらないからです。だからといって、自分達が戦争、原爆には関係ないと思っはいけないと思います。そのため

少しでも戦争、原爆のことを通して平和について考えるべきだと思います。

最初でも言いましたが、戦争、原爆は「苦い」「怖い」などの一言では言い表せないということです。つまり、戦争、原爆を甘く見てはいけないということです。そのため、原爆を実際に体験した人や、そのことにくわしい人に話を聞いたり、原爆ドームなどの記念館に見学をしに行ったりして、戦争、原爆の恐しさを感じるべきだと思います。原爆先生のような、戦争、原爆についてのお話をする人がいることで、今回のような場を設けることができたのだと思います。改めて、原爆先生にとっても感謝したです。そして、この経験を通して、より多くの人に戦争、原爆について考えてほしいです。また、ぼくも戦争、原爆について考えを深めていきたいです。

亜末先生の言話を聞く前にかいた方



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

9/26

僕は、原爆のことを聞いて、「とても怖いものだな」とより分かることかできました。
今までには、「8月6日に広島で原爆がおきた人では、ぐらゝの知識しかなかったものの、今回のおかげで、原爆の温度やどのような場所で爆発したのかどのぐらゝの人が亡くなったのかなどのことを知りました。これからの先、日本と他の国がどのようになるのかは、分かりません。し、今北朝鮮がミサイルをうとうとしていることか、また戦争をしていることを決して許してはいけないう思いました。今後日本も他の国とは戦争してほしくないです。し、他の国も戦争やミサイルを打つたなどのことは、本当にしてほしくないです。これから僕は、世界の平和を願いたいう思っています。このような体験もう一度しないうようにしてほしいと思っぺから、願いたいう思っています。被害者の人のことを思っぺから生き、命を大事にしたいと思っぺます。

6-3 片野 優 弥

垂木 先生の話を聞いた後、

先生の話を聞きより原爆のことを考えさせられました。人の話をよく聞き、よく考え、今後のこともかんかえな外ら生きたいと思ひます。この原爆を体験した人はこの先10年、20年、30年、40年で亡くなってしまいますので、体験したことのことを考え、これから小さい人にも伝えていかなければならないと思ひます。なので先生が言ったようにこの話を聞かないのが悪い行いをしたことでこれから先後悔すると思ひます。なのでしっかりと考えたいと思ひます。

広島におろした原火暴がもし今の東京におろたと考えただけでも、そくそくします。東京には人がたくさんいます。その人が全員亡くなることになり、日本の人口が減ると思ひます。なので今の日本は、他の国と絶対に戦争をしてはいけません。そのため日本は三原則を守ってほしいと思ひます。つくらないうで、つちまなうでほしいと思ひます。この先生生きていきたいと思ひます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、戦争の話を通じて聞いたことがあまりなかつたので、戦争についてより恐怖を抱きました。アメリカが、目的地を元々定めていて、その目的地が広島や長崎であったことは、その時代に生きていた人々はもちろん、実際に投下された後の今の時代を生きる私も、信じていることができません。また、原爆の結果を得るために、14万人の命を殺すことになった、戦争が許せません。その時代の人々は、何一つ悪いことをしていないのに、池田さんは自分の身を守りただけでなく、多くの人を助けられたことを、すごいと思います。実際に体験をした池田さんは、今日話を聞いた私よりも、もっと悲しい思いや悔しい思いをしたと思います。もっと生々しい広島の様子を鮮明に覚えていたのだと思います。話せば、苦しい記憶がよみがえると思われるのに、話して下さったことを感謝します。また、実際に体験した人は減っていくのが現実です。私達は、今日聞いた話を受けついで、伝えて

いかなければいけません。伝えて、この世界から戦争という残酷なものを消滅しなければいけません。しかし、世界では、まだ戦争が続いている国もあります。跡でテロが起こったり、ミサイルが飛んで来たりすることも、0%ではありません。そんなことが起こるかもしれないと考えると、怖さしかありません。昔の日本が受けた真を、絶対にくり返してはいけな...と、より強く思います。そのために、私たちは、何ができるか、私は、はっきりわかりません。ただ、未来にそのようなことが起こらないようにするために、伝えていかなければいけません。そして、人の感情だけで人を殺していくな...てことは、絶対にしてはいけな...いと命の尊さを覚え、心に刻むことができました。また、日本に原爆が落とされたという過去に、しっかりと向き合って、その重みを、忘れることのないように、家族と話し合ったり、資料を見たりして、戦争というものが世界から消滅するようになりたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私はこの学習を通して原爆のおそろしさが分りました。私は原爆を起して、夫さんの人が亡くなるだけではなく、原爆で悲しみがあることが90分を通り分りました。私は原爆を落とすなどこの国もしていけないとかいいました。なぜなら原爆を落しても、落された国はまたくソリツカないといひからうです。

私は90分間のお話の中で私は、方人2人も、命がなくなることを調べて、ソでも悲しくなりました。私は改めて命の大切さが分りました。私がもし、兵隊だったらどうしていたかと言えるところで、初場から大げなでしようと思ひます。私はそのことを次の世帯に受けついでいかならうといひことが分りました。理由は、もう原爆を落して1945年のソ原爆、かなしいことや、たくさん人の

人々がなくなるのはとても悲しい。人にもい
いことなどないし大勢の人もかきいいい
くらしを、おくら下苦しい思いをするから
です。などで次の世帯に、つなげて
いきたいです。

6年3組
平塚 幸



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆ドームに行ったことはあ、たけれど、実
際に経馬突していた人の話を聞いて原爆ドム
には展示されていない話や原爆ドームの女性の
木模型がきれいな「さる」ということにおどろきました。私
は、あれでも涙を流しました。それでも、もっともっとみに
くくなっていることを初めて知り、また涙を流しやうになり
ました。爆弾一つで14万人もの命をうしなしてしまうこ
と外小帯いです。戦争は、私だけで防げるものでは
ありません。でも、私一人でも少しだけでも良いので、こ
のようなことがもう二度と無くなるよう力を尽くしてい
きたいです。私は実際に戦争に行ったことも無いし
見たこともありません。ですが、今回の授業で私は、新
しく誕生してくる命に学んだことを聞かせてあげた
いです。また、初めて戦争のおそろしさ原爆で命を失
てしまった人、遺族の方などの悲しみ苦しみを義三
さんがお話ししてくれたことを教えてくれた原爆先生
ありがとうございました。また原爆ドームに行き見たこ
とを未来におとし残るやうにしていきたいと思いました。
話をかわりますが、核のおそろしさをまた学ぶことが出来ま

た。アメリカとは今仲が良いが、昔は原子爆弾を馬鹿笑うために日本に落とされたことは許せません。日本は原爆をおとされた、ただ一つの国なのでボラチアなどで私は子供ですが語りついでいきたいと思ひます。1945年8月6日1945年8月9日に私達人間は大きな過ちをおかしてしまいました。でも、もう過去をリセットすることは不可能ですが、またその過ちがおこらないよう、今度はまた過ちがおこらないようにしていきたいです。このことで何れ悪いことをしていないのに亡くなっています。私は戦争をさけていままで生きていたけれど、広島に行き遺品を見たりしたら戦争についていかなければならないと思ひました。今回言語を聞いて胸が苦しくなりました。私は今小学生ですが、戦争中では今なら休がいていてもおかしくないの、平和はとても大切なことだと新しい気がかされました。おかい子の命もうはわれてしまっているの、そこはとても悔しいです。戦争でたくさんの人々が苦勞をしてうえをかへんはってしっていることを思ひ、とても切なく思ひました。